

令和4年3月14日

保護者の皆様

岸和田市立山直南小学校
校長 仙石 晴彦

国語科モジュール学習の報告ならびにお知らせ

早春の頃、保護者の皆様には益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育のために、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本年度の9月から施行しました国語科モジュール学習につきまして、活動開始より半年が経過しますので、その成果や今後の課題について、保護者の皆様にご報告をさせていただきます。

なお、次年度からの本校の新しい教育課程として、この国語科モジュール学習を正規の学習活動として取り扱うとともに、週当たり授業時数の編成を改訂する予定であることを申し添えます。

今後のWithコロナでの教育活動を見据えるとともに、児童の基礎・基本的な学力の更なる充実を図ってまいりたいと考えております。

1. 国語科モジュール学習にて行った、主な学習事項について

- ①新出漢字を学ぶ（読み、意味、画数、筆順、部首、成り立ち など）
- ②漢字の用法を学ぶ（短作文、熟語、関連語、類語、反対語 など）
- ③漢字の書き取り練習をする（漢字ドリル、ノート練習、視写 など）
- ④漢字の定着を確かめる（小テスト、ワークシート、作文 など）
- ⑤漢字の理解を深める（漢字クイズやパズル、漢字さがし、漢字あつめ など）

2. 今年度における漢字学習の定着率など

各学期末に実施している漢字50問テストの得点などの変容から、児童の漢字学習の定着率を調べてみますと、概ねほとんどの学級において定着率の向上がみられています。また全体的にも、漢字の学習経験が積み上がっていくにつれて、より大きな成果が得られている傾向にありました。

3. 学校教育アンケートにおける、国語科モジュール学習への評価結果より

- ①児童アンケートにおける肯定的評価
低学年 83% 中学年 91% 高学年 99%
- ②保護者アンケートにおける肯定的評価 94%
- ③教職員アンケートにおける肯定的評価 100%

4. 今年度における国語科モジュール学習の成果や課題についての考察

< 成果 >

- 児童にとって、一日の始まりを静かで落ち着いた雰囲気の中、集中して取り組むことができました。
- 担任からの指導だけでなく、併せて担任外の先生からも巡回指導を行いましたので、児童への個別の支援や助言を、きめ細やかに行うことができました。
- 漢字の書き取り練習だけでなく、豊かな漢字の学び方を実施することで、児童の漢字学習への興味や関心を高めることができました。

< 課題 >

- 遅刻の多い児童にとっては、じっくりと取り組めないところがありました。児童の生活リズム向上については、またご家庭と一緒に、取り組んでいきたいと考えています。
- 学校行事や突然のトラブル対応などとの兼ね合いもあるのですが、毎日10分間の漢字学習を、子どもたちに確実に保証していくことが課題です。

5. 次年度からの国語科モジュール学習の取り扱いについて

- ① 正規の国語科授業として漢字学習を軸とした確かな指導を継続するとともに、国語科授業の一環として個別に成績をつけて評定を行います。なお、新1年生につきましては、1年間の前半は、ひらがな・カタカナの習熟、ノートの取り方の練習など、基礎的な学習活動から始めます。
- ② 国語科モジュール学習の正規化に伴い、各学年の週日時程の再編成を行います。次年度からは毎水曜日は原則4時間授業とします。なお、委員会ならびクラブ活動がある学年については、水曜日の5時間をその活動時間にあてることとします。

